

LEVOメルマガは、国内外の自動車の環境負荷低減と交通安全に関する情報、新規に開発された環境優良車や国の補助制度等の情報など、広く提供してまいりますので是非ご活用ください。

LEVOメルマガは、配信を希望された方々、LEVOリースをご利用の方々、名刺交換させていただいた方々に配信させていただいております。

■ LEVOからのお知らせ

《★令和5年度（補正予算）「商用車の電動化促進事業（トラック）」申請受付中》
 令和5年度（補正予算）に係る電動車の申請受付を3月8日（金）から開始しています。
 LEVOでは、2050年カーボンニュートラルの達成を目指して、環境省、国土交通省、経済産業省の連携のもと、令和5年度から運送事業者等の使用する自動車についての電動化（BEV、PHEV、FCV）※1を推進するため、電動車を導入する際に購入資金の一部を支援する「商用車の電動化促進事業（トラック）」を行っています。
 令和5年度の補正予算では、これまでの電動車に加えて充電設備※2についても補助対象となりました。

◇完了実績報告書の提出について
 「完了実績報告書の提出について」を掲載しました。
https://www.levor.or.jp/wp-content/uploads/kanryo_teishutsukigen.pdf

◇事前登録車両の追加
 事前登録車両の追加車種を掲載しました。申請書類作成用のデータシートも追加車種を加えていますので新たにダウンロードを行ってください。
 詳細はこちらをご覧ください。
<https://www.levor.or.jp/wp-content/uploads/ichirannhyou-.pdf>
<https://www.levor.or.jp/subsidy/hoseiyosan/documents/>

◇補助対象充電設備型式の追加
 補助対象充電設備の型式を追加しました。書類申請用のデータシートも追加型式を加えていますので新たにダウンロードを行ってください。
 詳細はこちらをご覧ください。
<https://www.levor.or.jp/subsidy/hoseiyosan/documents/>

◇リーフレットの作成
 補助金の概要を判り易く説明したリーフレットを作成いたしました。
 こちらからダウンロードしていただき、本補助金のご利用を検討される際にご活用ください。
<https://www.levor.or.jp/wp-content/uploads/R5hoseileaflet.pdf>

※1 BEV：電気自動車、PHEV：プラグインハイブリッド自動車、FCV：燃料電池自動車
 ※2 充電設備（普通充電器、急速充電器、V2H・外部給電器及び高圧受電設備の機器及び設置工事費等）の導入については、本補助事業において、車両導入と一体的に行われるもので、事業者の敷地（事業所、営業拠点）等に設置する充電設備に限ります。
 なお、令和5年度（当初予算）で導入した電動車に対し、新たに充電設備の導入を計画している場合は、特例により充電設備の申請が可能です。（既に導入された充電設備については補助を受けられません。）

受付期間 令和6年3月8日（金）～令和7年1月31日（金）
 予算額 約316億円（車両及び充電設備の総額）

詳細はこちらをご覧ください。
<https://www.levor.or.jp/subsidy/hoseiyosan/>

○問い合わせ先
 一般財団法人環境優良車普及機構 商用車の電動化促進事業執行グループ

車両担当

TEL : 03-5944-0883 Email : evhojo@levo.or.jp

充電設備担当

TEL : 03-5341-4728 Email : juhojo@levo.or.jp

《★関連情報：一般社団法人次世代自動車振興センターに係る地方自治体等の支援のご紹介》
商用車の電動化促進事業については、令和5年度から自動車運送事業において商用に使用する車両に対して購入資金の一部の補助を開始しました。

さらに令和5年度補正予算では、補助対象にこれまでの車両に加えて、新たに充電設備を補助対象に加えて事業を行っています。

このほか地方公共団体等においては、国の補助金とともに支援制度を設けているところもあり、支援制度については自家用車に対する補助金を担当している「一般社団法人次世代自動車振興センター（NeV）」においては全国の自治体の支援制度について紹介をされていますので、NeVのリンク先をご紹介いたしますので、参考としてください。

リンク先（一般社団法人次世代自動車振興センター（NeV））：
https://www.cev-pc.or.jp/local_supports/hokkaido.html

■ 海外情報

LEVOは、日本政府指定機関として参加している国際エネルギー機関（IEA）の自動車用先進燃料技術連携プログラム（AMF-TCP）で得られた情報等を出来るだけ早く皆様に提供しています。従って、記事の翻訳は、仮訳であり、また、記事の内容についての事実確認は行ってないことをご了承ください。

★IEA 世界のEV 展望 2024 《第7章 EVモビリティの展望》（IEA Global EV Outlook 2024）
IEAが、EV や充電インフラの普及、バッテリー需要、投資動向、主要市場と新興市場における関連する政策動向などの分野の調査結果から、EV の普及を支援する政策と市場システムについて取りまとめて2024年4月に公表した「IEA 世界のEV 展望 2024」から『第7章 EVモビリティの展望』を紹介します。

○第7章 EVモビリティの展望

シナリオレビュー

公表政策シナリオ

表明公約シナリオ

2050年ネット・ゼロ・エミッション・シナリオ

モードごとの自動車交通の展望

公表政策シナリオの下では世界のEV保有台数は、2035年までに12倍に増加

現在の政策に基づくと、世界の小型EV販売は2030年に40%、2035年にはほぼ55%に達する
二輪車／三輪車の完全電動化は手の届く範囲だが、政策的支援が必要

既存の政策に基づくと、2035年までに世界で販売されるバスの30%がEVバスになると予測
トラックは電化が最も遅れているが、各国のコミットメントが進展を後押しする可能性

地域ごとのEVの展望

中国は、今後数年でEVの販売シェアが50%を超えると予想

EUの大型車CO2基準は大型EVの展望を明るくする

米国における新しい排出ガス規制はEV乗用車やEVトラックの販売を加速

日本のEV支援政策に変化はない

インドは国内のサプライチェーンが整備、EV乗用車販売の見通しは明るい

多くの新興国や発展途上国は、二輪・三輪車、公共交通のEV化にフォーカス

産業界の概観

大手自動車メーカー10社は、現在の政策目標を上回る2,000万台以上のEVを2030年に販売予定

政策が生産能力の投資を後押しし、急速な電化の道筋に対する信頼性を構築

欧州市場では大型自動車メーカーが最も意欲的、CO2基準案が後押し

<https://www.levo.or.jp/wp-content/uploads/vol.68kijij202411.pdf>

※IEA（International Energy Agency：国際エネルギー機関）

IEAは、経済協力開発機構（OECD）の外局機関で、1974年にOECD理事会の決定によ

り設立されました。石油危機に端を発し、石油エネルギー節約、石油代替エネルギーの開発促進等、石油消費国間におけるエネルギー問題への対応を主な目的としています。

◆ LEVOニュースインタビュー募集！

LEVOニュースは、自動車運送事業者をはじめとする関係者の方々に、LEVOの活動状況、新規に開発された環境優良車や国の補助制度の情報などを提供する広報誌です。

LEVOニュースでは、EV、FCV、HEV、CNGなどの環境優良車やデジタコなどのEMS機器のほかドライブレコーダ等、お使いになられた効果や感想などの記事を、LEVOニュースへ掲載させて頂ける事業者を募集しております。

●LEVOニュース最新号

<https://www.levo.or.jp/library/newslevo/>
<LEVOニュース記事募集係 TEL:03(3359)9008>

<本メルマガの登録解除はこちらから>

<https://www.levo.or.jp/library/magazine-cancel/>

<その他のご意見、お問い合わせはこちらへ>

E-mail: emlmag-kanrinin@levo.or.jp

一般財団法人 環境優良車普及機構
〒160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル
HP: <https://www.levo.or.jp/>

本メルマガの無断転載を禁じます。
